

## 今月のトピック

- ◆ お客さま本位の業務運営方針について
- ◆ 防災対策のすすめ -9月1日は防災の日-
- ◆ 知って得する自動車保険 -台風と自動車保険-



## お客さま本位の業務運営方針について

昨今の損害保険業界における厳しい状況を真摯に受け止め、当社の経営理念、経営方針を踏まえた「お客さま本位の業務運営方針」を改めて策定いたしました。(2024年12月策定)

東京エイドセンターは、昭和60年に東京都の職員の福利厚生の上昇を図るため、団体損害保険を取り扱う代理店として設立されました。

当社は、設立以来『新設・丁寧・迅速』をモットーに、『常にお客さまの立場に立ったサービスのご提供』、『お客さまにとって最適な保険のご提案』を基本方針として営業してきましたが、これを機に今後も、お客さまに寄り添い、お客さまのニーズをしっかりと把握し、適切な保険提案ができるよう、全社一丸となって取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

### 方針1 お客さま本位の業務運営の実践と企業文化の確立

お客さまに良質な保険サービスを提供するため、本運営を実施し、企業文化として確立するように努めてまいります。

### 方針2 お客さまの最善の利益を追求

高度の専門性と職業倫理を保持し、誠実・公正に業務を行い、お客さまの最善の利益を図ります。

### 方針3 重要な情報の分かりやすい提供

保険に関わる重要な情報をお客さまにわかりやすく提供します。

### 方針4 お客さまにふさわしいサービスの提供

お客さまニーズに合った最適な商品を選択いただけるように適正な保険募集及び契約管理を実施します。

### 方針5 適切な動機付けと人材育成の枠組み

当社は、お客さまの最善の利益を追求するための従業員に対する適切な教育・研修を実施します。



# 9月1日は『防災の日』です！

事業主は、災害時に従業員の安全確保を図り、災害からの被害を防止するために努力することが、労働契約法第5条で義務付けられています。



事業主等が実施する防災対策についてご説明いたします。防災対策は、事業主等だけが実施すればよいということではありません。是非参考にさせていただき、ご家庭でも防災対策について、話し合ってみてはいかがでしょうか！

## 防災対策 1 従業員の安全を守る

事業主等はまず従業員の安全を考える必要があります。

### 【事前に準備できること】

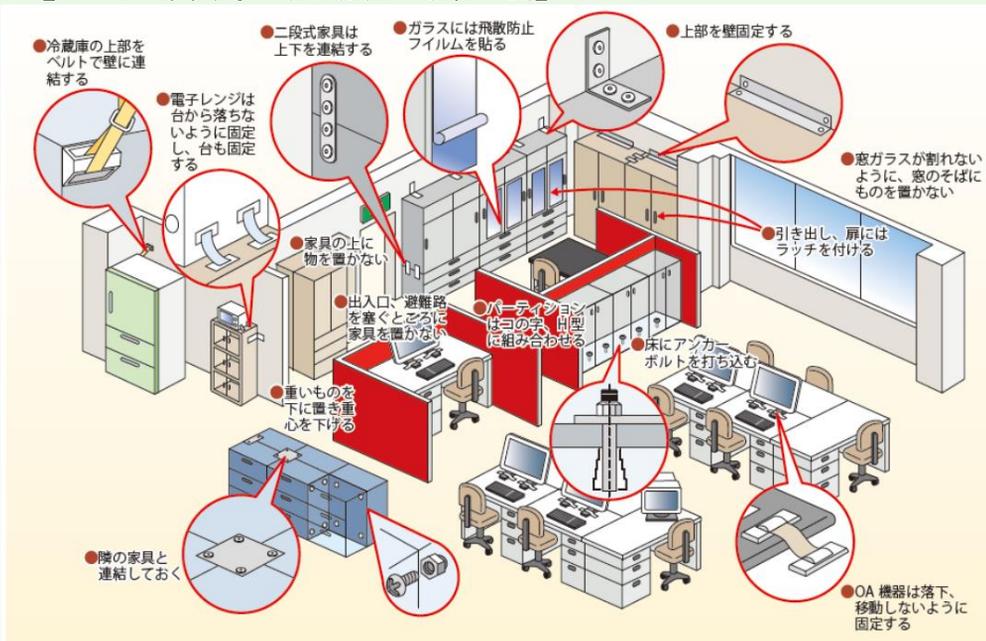
- 防災マニュアルの作成・周知
- 災害時の役割分担を決める
- 従業員やその家族の安否確認方法の確立
- 定期的な防災教育・防災訓練の実施
- 救命講習（応急手当の方法を学ぶ）
- オフィス内の安全対策
- 非常備蓄品の準備
- ハザードマップで地域の危険性を把握



## 防災対策 2 オフィス内の安全対策

オフィスや工場の被害を最小限に抑えるための対策が必要です。

### 【オフィス家具等の転倒防止対策の例】



【家具類の転倒・転落防止】  
左図を参考に金具類を使用して、対策しましょう。

【データのバックアップ】  
定期的かつ頻繁に行いましょう。  
重要なデータ等は、遠隔地でもバックアップも有効。

【避難経路の確保】  
出口や廊下、階段等の避難経路に物が置かれていたら、避難の障害になります。  
職場巡視等で、普段から整理整頓に努めましょう。

# 防災対策 3 周辺企業や地域住民との連携

地域の防災訓練に参加し、周辺地域との連携・協力活動できるよう備えましょう。

## 事例① A株式会社

災害時の支援物資輸送の際、高齢者見守り支援も同時に実施、敷地の一部を災害時避難場所として提供

## 事例② B株式会社

「災害発生時における支援に関する協定」を県と締結し、大規模災害の発生に備え、避難生活の長期化が想定される避難所で必要となる物資情報の公開を支援することで、物資を迅速かつ的確に調達することを目的としている。

# 防災対策 4 備えを確認する

チェックリストを活用し、不足がないか定期的に確認しましょう。



### 「自社の備え」チェックリスト

備蓄品			
品名	チェック	品名	チェック
飲料水(ひとり1日3L×3日分×従業員数)		大型のビニール袋・ゴミ袋	
食料(ひとり1日3食×3日分×従業員数)		テレビ、ラジオ	
毛布、寝袋(1枚×従業員数)		予備電池、携帯電話・スマートフォン充電器	
調理機器(カセットコンロ、燃料)		照明器具(懐中電灯、LEDランタン)	
救急用品、医薬品		ポータブル発電機・燃料	
紙皿、割り箸、ラップ		暑さ対策用品(冷却スプレー、冷却ジェルシート、扇子など)	
ティッシュペーパー、ウエットティッシュ		寒さ対策用品(携帯カイロ、ダウンジャケット、防水ウェアなど)	
簡易トイレ、トイレトペーパー		救出・救助器具(ヘルメット・ロープ・パールなど)	

※できれば、施設利用者などのために従業員数より10%程度多く、水・食料・トイレなどを備蓄しておきましょう。

確認項目	確認内容	チェック
建物の確認	建物の安全確認カルテの作成・平常時の安全確認	
	ライフラインの機能の把握	
情報収集・安否確認	正しい情報の入手先の把握	
	従業員の安否確認手段と手順の決定及び周知	
自社からの移動・帰宅抑制	一斉帰宅抑制の周知	
	安全な待機スペースの確保	

### 「個人の備え」チェックリスト

備蓄品			
品名	チェック	品名	チェック
衣類(着替え・下着・季節に応じた衣服など)		暑さ対策用品(冷却スプレー、冷却ジェルシート、扇子など)	
常用薬(アレルギー対応含む)		寒さ対策用品(携帯カイロ、ダウンジャケット、防水ウェアなど)	
メガネ、コンタクトレンズ(予備)		ストール、スカーフ	
モバイルバッテリー(携帯電話・スマートフォン用)		保湿クリーム、生理用品	

● 家族との連絡方法は  です。

● 家族との集合場所は  です。

	名前	電話番号	メール/SNSアドレス
連絡先記入欄	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

地震や台風、豪雨による風水害などの災害はいつ起こるかわかりません。だからこそ、ひとりひとりが日頃から災害に備えておく必要があります！



## もし台風でクルマが壊れたら・・・

### 保険は使えるの？

日本は、地震や台風といった自然災害の多い「災害大国」と言われています。特に夏から秋にかけては、毎年のように台風や集中豪雨などが発生し、各地に甚大な被害をもたらします。



#### 例えば・・・



- ◆ 倒木や飛来物がクルマに**直撃**
- ◆ 大雨で、クルマが**水に浸かる、流される**
- ◆ **土砂崩れ**に巻き込まれる

このようなケースでは、エンジンや内装までダメージを受け、いわゆる**全損扱い**になることも……。実際に、車内まで浸水してしまった場合、多くが**修理不能**と判断させるほどの被害となります。

そこで注目したいのが、自動車保険の『**車両保険**』です！！

なかでも、保険料を抑えながら自然災害にも備えられる『**エコノミー型車両保険**』です！！

現在車両保険を付帯していない方でも、保険期間の中途から**追加付帯することが可能**な場合がありますので、ぜひとも一度ご相談ください。  
(ご契約内容や事故歴などによっては、お引受けできない場合もございます。)

ただし、**ご注意ください**点もございます。

例えば、冠水している道路に無理やり侵入した場合などは、**保険金のお支払い対象外**となるケースもあります。

災害時には**安全を最優先に行動**することが大切です。

注目



台風シーズンの今こそ、ご自身の保険を見直ししてみませんか？  
「もしも」の時に頼れる備えを、事前に準備しておきましょう！！

お問い合わせ先は、弊社自動車保険部 0120-972-722 まで

#### 【編集後記】

東京エイドセンターでは、一般で加入されるよりも割安な団体生命保険・損害保険をはじめ、より皆さまのニーズにマッチした補償のご提案を行っております。「皆さまに寄り添う保険代理店」を目指して、日々活動しておりますので、お気軽にご相談ください。

東京都人材支援事業団 指定幹事損害保険代理店



現役でも 退職後でも 安心のサポート  
フリーダイヤル 0120-518-810  
(受付：平日9:00～17:00)

〒163-0943 新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス16階